

| | | | | | |
|--|---------------|-----|-------------------|------------|--|
| 04月度 例会 個人 山行報告書 | | 報告者 | 町田 修 | 参加 メンバー | CL: 町田修 SL: 天野 広、金子清、藤田勝啓、 津田廣一、上田正博、竹 内幹雄、上杉さん |
| | | 報告日 | 4月13日 | | |
| 山城 | 奥美濃 | 山行日 | 2021年04月10日(土) | | |
| 山名 | 能郷白山(1621m) | | | | |
| 山行目的 | 雪山トレーニング&地域交流 | | コースタイム(天候: 天気図記号) | | |

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



天候: ○快晴
<コースタイム>
林道P発: 7:00
登山口: 7:58-8:12
前山: 10:38-10:45
本峰: 12:02-12:23
前山: 13:50-14:00
登山口: 15:22-15:32
林道P着: 16:39



<山行報告> 越前の荒島岳と美濃の能郷白山が100名山候補で拮抗したらしい。深田久弥は「山の気品のあ
る点」で筆配を荒島に挙げたと記している。私が思うに、郷里の山への想いの強さが出たのだろう。能郷白山の
ずじりとした山容と広大な山頂と白山や北アルプス、乗鞍、御嶽などの眺望といい、荒島は敵わない。これは私
の偏見かもしれないが、長年訪ねている経験値から正に名山である。その能郷白山、今年はいくつかの変化点
があった。其の①登山口の渡渉ポイントに橋が設置された(地元ボランティア提供)過去に私どものメンバーが何
人か渡渉失敗で痛い目にあっている。登山開始と下山時のストレスを考えるとずいぶん有難い。其の②前山に
至る尾根道に雪解けの傍らに咲く「イワウチワ」がずいぶん減っている。毎年、此処の群生に出会えるのを
楽しみにしていた。縮小が懸念される。其の③残雪の量が少なかった。前山へのルートはほとんど夏道通しだ
った。暖冬の影響だろうか(年末年始の豪雪情報はワンポイント現象だったか)其の④いつものメンバーに
紅一点上杉さんと70歳を迎えた上田さんが参加してくれた。この8名の晴れっ子ぶりが当日の快晴につな
がった。雲一つない完璧な青空で正に360度の眺望を満喫した(白山、北アルプス/キレットとまで確認
できた、乗鞍、御嶽、北に荒島岳、部子山、銀杏峯、西に冠山、若丸山、金草山・・・)前山から本峰
への尾根道はザラメの雪も締まり、つば足で快適に歩いた。山頂の識標はカラフルで美濃の奥山には
少し不似合いだが、文句は言うまい。

(リーダー所見) 林道の駐車場から登山口まで約1時間、往復で2時間、いつもこのロス
タイムが無かったらもっと能郷白山を楽しめるのと思っていた。しかし、少し考えが
変わってきた。登山開始までのウォーミングアップと下山後のクールダウンにちよ
っと長めではあるが、メンバーとわいがや言いながら、歩くのも良いのでは...
と。経年変化は意外なところで面白い変化点に気づく。

さて、今年も愉快的なメンバーと根尾の山を堪能できた。跡路さん(樽見の
大栄ストア-寿司シェフ)が美味しい「鯖寿司」を拵えて、来店を待っていて
くれた。切れっばしの寿司で小腹を満たし、尾並坂峠を越えて根尾を後にした。

来期はコロナ禍が去り、薄墨桜の里に観光バスが戻り、能郷神社に猿楽
が奉納され、又我々も長い林道を歩いて能郷白山にTRYしたい。

《フリースペース》



山頂の賑わい

確認
(リーダー)
町
21/04/13
田
作成
(報告者)
町
21/04/13
田